

ボーリング柱状図

調査名 宮古島第三宿舎(仮称)敷地調査業務

ボーリングNo. 3 7 2 5 1 2 4 3 0 0 2

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	RB2	調査位置	世界測地系 X = -133659.507 , Y = 130903.891			北緯	24° 47' 15.8542"				
発注機関	海上保安庁第十一管区海上保安本部	調査期間	2019/ 9/16~2019/ 9/16			東経	125° 17' 40.4208"				
調査業者名	株式会社 日興建設コンサルタント 電話 098-877-1667	主任技師	砂川 尚之		現代理人	中戸 章友		コ鑑定者	中戸 章友	ボーリング責任者	下地 喬巳
孔口標高	EL 42.27m	角			地盤勾配			使用機種	試錐機	YBM-05(ワイビーエム製)	
総掘進長	10.00m	度			鉛直			エンジン	NFD10 (ヤンマー製)	ハンマー落下用具	半自動型
										ポンプ	SX451

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取	室内試験	掘進	
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値	深	試験名及び結果				
1				礫混り粘土	褐		硬い	地表より20cm程は表土。植物根の混入を確認する。 深度0.20~0.48mに石灰岩の砂礫を挟む。 深度0.48m以深は比較的均一な粘土。 含水量低位で、塑性は低位。	9/16 無し	1.15	3	3	3	9/30	9				
2										2.15	3	3	1	7/30	7				
3	39.27	3.00	3.00							3.15	3	6	2	11/30	11				
4				石灰岩(砂礫)	灰白		中べらい	未固結状の碎屑性石灰岩		3.45	3	57	5	60/15	60以上				
5							非常に密な	粗砂と細~中礫を主体に、所々に片状~短柱状の固結部を挟む。		4.15	3	57	5	60/15	60以上				
6							密な	全体に固結度は低く、指圧にて砂礫状に崩れる程度。		5.10	60	5	60/5	60以上					
7								相対密度は全体に高く、良く締まった状態。		6.15	15	20	10	45/30	45				
8							非常に密な	粘土等の流入物は認められない。		6.45	7.00	貫入不能		60/0	60以上				
9								深度9.00~9.25mに円盤状~片状の固結部を挟む。		8.00	貫入不能			60/0	60以上				
10	32.27	7.00	10.00							9.00	貫入不能			60/0	60以上				
11										10.00	貫入不能			60/0	60以上				
12																			
13																			
14																			
15																			

ボーリング柱状図

調査名 宮古島第三宿舎(仮称)敷地調査業務

ボーリングNo. 3 7 2 5 1 2 4 3 0 0 3

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	RB3	調査位置	世界測地系 X = -133674.889 , Y = 130985.428			北緯	24° 47' 15.3292"									
発注機関	海上保安庁第十一管区海上保安本部			調査期間	2019/ 9/17~2019/ 9/18			東経	125° 17' 43.3179"							
調査業者名	株式会社 日興建設コンサルタント 電話 098-877-1667		主任技師	砂川 尚之		現場代理人	中戸 章友		コ鑑定者	中戸 章友						
ボーリング責任者	下地 喬巳															
孔口標高	EL 42.84m	角	180° 上 90° 下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機 YBM-05(ワイビーエム製)		ハンマー落下用具	半自動型	
総掘進長	10.00m		度			向			エンジン	NFD10 (ヤンマー製)		ポンプ	SX451			

標尺	層厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験				原位置試験		試料採取	室内	掘進			
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N	深	試験名及び結果				深	試料採取番号	方法
1				礫混じり粘土	褐		非常に硬い	地表より10cm程は表土。植物根の混入を確認する。深度0.40~0.5mに石灰岩の砂礫を挟む。含水量低位で、塑性は低位。		9/18 無し	1.15	4	4	5	13	30						
2	40.94	1.90	1.90					未固結状の碎屑性石灰岩			1.45											
3							非常に密な	粗砂と細~中礫を主体に、不規則に片状~短柱状の固結部を挟む。			2.10	60			60							
4				石灰岩(砂礫)	灰白			全体に固結度は低く、指圧にて砂礫状に崩れる程度。			2.13	3			60							
5								相対密度は全体に高く、良く締まった状態。			3.00	貫入不能			60							
6								粘土等の流入物は認められない。			4.07	60			60							
7								深度5.00~5.70mは短柱状~棒状の固結コアは挟む。			4.10	3			60							
8							非常に密な				5.03	60			60							
9											5.07	4			60							
10	32.84	8.10	10.00				非常に密な				6.00	貫入不能			60							
11											7.15	12	16	14	42	30						
12											7.45											
13											8.15	12	15	21	48	30						
14											8.45											
15											9.00	貫入不能			60							
											10.00	貫入不能			60							

ボーリング柱状図

調査名 宮古島第三宿舎(仮称)敷地調査業務

ボーリングNo. 3 7 2 5 1 2 4 3 0 0 4

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	RB4	調査位置	世界測地系 X = -133704.920 , Y = 130962.052			北緯	24° 47' 14.3606"				
発注機関	海上保安庁第十一管区海上保安本部			調査期間	2019/ 9/18~2019/ 9/19			東経	125° 17' 42.4757"		
調査業者名	株式会社 日興建設コンサルタント 電話 098-877-1667		主任技師	砂川 尚之		現代理人	中戸 章友		コ鑑定者	中戸 章友	
ボーリング責任者	下地 喬巳										
孔口標高	EL 42.46m		角	180° 上 下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 東		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	
総掘進長	10.00m		使用機種	試錐機 YBM-05(ワイビーエム製)			ハンマー落下用具		半自動型		
			エンジン	NFD10 (ヤンマー製)			ポンプ		SX451		

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取	室内試験	掘進	
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値	深	試験名及び結果				
1				礫混じり粘土	褐		硬い	深度0.3mに幅10cm程の石灰岩砂礫を挟む。 含水量低位で、塑性は低位。	9/18 無し	1.15	3	3	3	9/30					
2	40.56	1.90	1.90	石灰岩(シルト混じり砂礫)	浅黄		中ぐらい	未固結状の碎屑性石灰岩全体にルーズな状態。コアは砂礫状にて採取される。 礫はφ2~15mmの細~中礫主体。砂は粗砂主体で構成され、細粒分を少量含有する。		1.45									
3										2.15	6	6	6	18/30					
4	38.56	2.00	3.90							2.45									
5				石灰岩(砂礫)	灰白		非常に密な	未固結状の碎屑性石灰岩 礫状~短柱状コアと砂礫部の互層を呈する。		3.15	4	4	4	12/30					
6										3.45									
7										4.00	貫入不能			60/0					
8										5.10	60			60/3					
9										5.13	3			60/3					
10	32.46	6.10	10.00							6.15	60			60/10					
11										6.25				60/10					
12										7.00	60			60/7					
13										7.07	7			60/7					
14										8.15	60			60/8					
15										8.23	8			60/8					
										9.15	60			60/4					
										9.19	4			60/4					
										10.00	貫入不能			60/0					

8
18
9
17

ボーリング柱状図

調査名 宮古島第三宿舎(仮称)敷地調査業務

ボーリングNo. 3 7 2 5 1 2 4 3 0 0 5

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	RB5	調査位置	世界測地系 X = -133734.980 , Y = 130938.800			北緯	24° 47' 13.3910"				
発注機関	海上保安庁第十一管区海上保安本部	調査期間	2019/ 9/20~2019/ 9/21			東経	125° 17' 41.6379"				
調査業者名	株式会社 日興建設コンサルタント 電話 098-877-1667	主任技師	砂川 尚之		現代理人	中戸 章友	コ鑑定者	中戸 章友	ボーリング責任者	下地 喬巳	
孔口標高	EL 42.49m	角			地盤勾配			使用機種	試錐機	ハンマー落下用具	ポンプ
総掘進長	12.00m	度			使用機種			試錐機	YBM-05(ワイビーエム製)	ハンマー落下用具	半自動型
					使用機種			エンジン	NFD10 (ヤンマー製)	ポンプ	SX451

標尺	層厚	深度	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験		試料採取	室内掘進		
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	N値	深	試験名及び結果				
1				礫混じり粘土	褐		硬い		9/22 無し	1.15	3	3	4	10/30	10				
2										1.45	3	3	3	9/30	9				
3	39.59	2.90	2.90							2.15	3	3	3	9/30					
4										2.45	3	3	3	9/30					
5				石灰岩(砂礫)	灰白		中	未固結状の碎屑性石灰岩		3.15	6	6	7	19/30	19				
6										3.45	3	4	3	10/30	10				
7										4.15	3	4	3	10/30					
8										4.45	3	4	3	10/30					
9										5.15	10	20	30	60/23	60以上				
10	32.49	7.10	10.00							5.38	6.00	貫入不能	60	60以上					
11				石灰岩(砂礫)	灰白		密な	未固結状の碎屑性石灰岩 礫状~短柱状の固結部主体。 上層に比べてやや固結度は高い感じを受ける。 粘土等の流入物は認められない。		7.15	3	6	21	30/30	30				
12	30.43	2.06	12.06							7.45	6	7	7	20/30	20				
13										8.15	6	7	7	20/30					
14										8.45	6	7	7	20/30					
15										9.15	23	17	7	47/30	47				
16										9.45	23	17	7	47/30					
17										10.00	40	13	7	60/28	60以上				
18										10.28	40	13	7	60/28					
										11.15	13	15	22	50/30	50				
										11.45	13	15	22	50/30					
										12.00	60	6	6	60/6	60以上				
										12.06	60	6	6	60/6					